

■事前調整会議で委員から出された意見とまちづくりの方向性等 概要での対応 [発言順]

委員から出された意見	対応方針（案）
<p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティに「健康的な、安心した健康長寿社会」「子育て支援」の活動を支える的なことも入れてもらいたい。 [井出委員] ・将来像 2②に遠隔医療だけではなく、もう少し書き込んでもらいたい。[井出委員] ・地域の方たちの健康だとか、福祉のサービス、あるいは情報管理といったものも含めて、このスマートシティで考えられないのかと。ヘルスケア（スマートウェルネス）の話にもつながる。[岸井委員長] 	<p>将来像 2 の二つ目の○長寿社会を実現する取組の推進に「高齢、福祉、介護」を追記する。</p>
<p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像 1 の「憩えるまち」にゆとりがすごく強調されていて、非常に重要だと思っている。にぎわいもあるが、ゆとりとにぎわいが両立するようなまちをもっと強調してもいい。 [瀬田委員] ・「ゆとりとにぎわいの両立」とか、「三密が回避できながら楽しく過ごせるまち」とか、少しご検討してほしい。 [瀬田委員] ・「にぎわい」という言葉と「ゆとり」という言葉の並列が、非常に難しく感じられるのではないかと。将来像 1 については、1 つの例でいえば、「多様な機能が駅前に集積し、歩きやすく、ゆとりと『活力』が生まれるまち」等々で整理ができないか。[太田委員] ・「にぎわい」を「活力」に換えたらどうか。[岸井委員長] 	<p>将来像 1 「多様な機能が駅前に集積し、歩きやすく、ゆとりとにぎわいが両立し、活力が生まれるまち」に見直す。</p>
<p>3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像 1 に「誰もがゆとりを持ち、自分らしくポジティブに働ける環境整備」という部分があるが、「時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を可能として、誰もが「ゆとり」を持ち」と、またここで「ゆとり」という言葉が出るが、その後続く、「自分らしくポジティブに働ける環境」ということでつながるのであれば、やはり『誰もが豊かさを感じる』とか、別の表現に少し整理したほうがいい。[太田委員] 	<p>将来像 1 の二つ目の◆を「誰もが豊かさを感じ、自分らしくポジティブに働ける環境の整備」に見直す。</p>
<p>4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像 3 のところも、「国内外に多様な人々が集い、新たに交流し」という部分のこの「新たに」というのはどういう交流なのかというのが少し分かりづらい。[太田委員] 	<p>将来像 3 「～新たな交流・活動が創出され、安全・安心・快適に暮らせるまち」に見直す。</p>

委員から出された意見	対応方針（案）
<p>5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今回の新型コロナの危機を契機としたまちづくりの方向性を追記する」という部分は、非常に今回重要だと捉えているのが、ここに出てくる「新たな感染症に配慮した」というと、今後出てくる感染症がまだ分からない中で、それに配慮した商業施設をどうのこうのという表現は、非常に今後またこれを読まれた方がどういうふう捉えるのかなというところが少しここも気になるところである。冒頭の背景のところできっと書き込んであるので、あえてそこをあまり「新たな感染症」という言葉で、ここで追記するというのは少しいかかかなというのを感じる。[太田委員] ・「新たな感染症に配慮したまちづくりの方向性」と、ここまで書かなくてもいいのではないか。「まちづくりの方向性」の前提にそういう背景があることは書いてあるので、新たな感染症だけに配慮しているわけでもないと思えば、書かなくてもいい。[岸井委員長] 	<p>まちづくり方針策定の背景と求められる新たな対応の「～新型コロナ～」と「～新たな感染症～」は残し、【にぎわい】の「②新たな感染症に配慮した商業施設が求められている」は削除する。</p>
<p>6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像の実現イメージの「人々が出会い、交流し」のところで、「働き方、憩い方がアップデートされ」と、アップデートというイメージと少し違うのではないか。「新しい活力」だったり、というものに向けていこうという都の取り組みだと理解している。アップデートというのは、少しマイルド過ぎると思う。[井出委員] ・アップデート程度では、少しスマートシティにならないのではないかという感じか。言葉遣いで、アップデートに換わる何かいい言葉があるとよい。[岸井委員長] 	<p>「～アップデートされ」を「～融合し進化」に見直す。</p>
<p>7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像 2 の「スマートなまち」、前回は、①「先端技術を取り入れたまちづくりの推進。大学・研究所の集積を生かした産学公連携の取り組みの推進」の中で、具体的に都有地を活用して、先端技術の導入、ビジネスマッチング、起業とビジネス環境の整備・促進ということだったので、そこが一般的なサテライト、シェアオフィスなどのビジネス環境ということで、若干、一般的な記載になってしまった。 [中山委員] 	<p>将来像 2 の一つ目の○大学や研究所の周生期を活かした産学公連携の取組の推進に「ビジネスマッチング、起業」を追記する。</p>

委員から出された意見	対応方針（案）
<p>8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来像 1 の②のところの「生活と仕事の両立の支援」、以前はここに子育て世代がたくさんいらっしゃるということを背景に、子育て支援施設などの整備も併せて行うということが書いてあった。将来像 3 の「居場所」、高齢者が多い中での居場所づくりとか、そういう世代の共生につながるころなので、そこもなくなったのは少し残念と思う。 <p>[中山委員]</p>	<p>将来像 1 の二つ目の〇生活と仕事の両立への支援に「子育て支援施設」を追記する。</p>
<p>9)</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートシティ、自動運転のバスターミナルみたいな物が書いてあるのですが、こういう物が足りなくなってきた、もう少したくさんこういうアクセスが必要になるということが起きる可能性もある。そういうことを見据えたまちの骨格みたいなものは、ちゃんと作っておいたほうがいい。 <p>[竹宮委員]</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来像 2 の「スマートなまちづくり」のところに、「持続可能な環境が創出される」というところに少し加えていただくような形で、そういう「持続的な発展が可能な骨格を作る」みたいなことがあってもいい。 <p>[竹宮委員]</p>	<p>将来像 2 の「～新たな生活様式に対応した持続的で発展が可能な環境が創出されるまち」に見直す。</p>
<p>10)（委員会後の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり方針策定の背景のところは、経過ではなく最終的な考え方で記載するほうがいい。 <p>[八嶋委員]</p>	<p>背景の 4 つ目の文言を修正。</p>